

教材例集について(案)

1. 目次
2. はじめに……………2 ページ
 2. 1 地域における日本語教育で大切なこと
 2. 2 教材例の趣旨・期待される活用方法
 2. 3 教材例作成のプロセス
 2. 4 教材例の構成
3. 教材例
 - I 健康・安全に暮らす
 - 01 健康を保つ
 - (01) 医療機関で治療を受ける……………※作成途中
 - (02) 薬を利用する……………(※今後作成予定)
 - (03) 健康に気を付ける……………(※今後作成予定)
 - 02 安全を守る
 - (05) 災害に備え, 対応する……………5~19 ページ
 - II 住居を確保・維持する
 - 04 住環境を整える
 - (07) 住居を管理する……………(※今後作成予定)
 - III 消費活動を行う
 - 05 物品購入・サービスを利用する
 - (08) 物品購入・サービスを利用する……………※作成途中
 - 06 お金を管理する
 - (09) 金融機関を利用する……………(※今後作成予定)
 - IV 目的地に移動する
 - 07 公共交通機関を利用する
 - (10) 電車, バス, 飛行機, 船等を利用する……………※作成途中
 - (11) タクシーを利用する……………※作成途中
 - 08 自力で移動する
 - (12) 徒歩で移動する……………(※今後作成予定)
 - VII 人とかかわる
 - 14 他者との関係を円滑にする
 - (31) 人と付き合う……………※作成途中
 - VIII 社会の一員となる
 - 15 地域・社会のルール・マナーを守る
 - (33) 住民としての手続をする……………(※今後作成予定)
 - (34) 住民としてのマナーを守る……………(※今後作成予定)
 - 16 地域社会に参加する
 - (35) 地域社会に参加する……………(※今後作成予定)
 - IX 自身を豊かにする
 - 20 余暇を楽しむ
 - (44) 余暇を楽しむ……………(※今後作成予定)
 - X 情報を収集・発信する
 - 21 通信する
 - (45) 郵便・宅配便を利用する……………(※今後作成予定)
 - (46) インターネットを利用する……………(※今後作成予定)
 - (47) 電話・ファクシミリを利用する……………(※今後作成予定)
4. 参考資料
 - 教材例を作成する際に参考にした資料・HP等……………(※今後作成予定)

Ⅱ. 「2. はじめに」の構成（案）

教材例の趣旨や活用方法をまとめ、各地域において適切に活用されることを目指す。

2. はじめに

2. 1 地域における日本語教育で大切なこと（以下、ガイドブック p. 2～p. 3 を転載。）

- ・「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標について
- ・言語や言語学習についての考え方について

2. 2 教材例の趣旨・期待される活用方法

（教材例の趣旨について）

- ・標準的なカリキュラム案が目指すもの
- ・標準的なカリキュラム案を踏まえた教材の例示であること
- ・教材例で取り上げられている内容の暗記ではなく、生活上の行為ができるようになることが目的。また、地域の中で生活するということを考え、自分の基本的な情報を伝え、初対面の人と人間関係を築く基礎を作れるようになることを目指す。
- ・教材例は「生活者としての外国人」に対する日本語教育の在り方を具体的な教材例の形で示したものであり、他の教材の使用を否定するものではない。地域の実情や学習者の日本語のレベルに合わせて、より有効な教室活動が展開されるよう他の教材や資料などを組み合わせながら教室活動を行うことが望ましい。

（期待される活用方法について）

- ・「教材例」は、そのままの状態ですべての地域ですべての学習者を対象に効果的に活用できるものではなく、地域の実情、学習者の日本語のレベルに合わせて教材例の内容に手を加えたり、多言語情報を活用したり母語話者を活用したりする等、工夫を行うことで具体的な学習者の実情に合わせることを求められる。
- ・学習者のニーズや地域ならではの情報を調べ、それに対応させた内容に加工していくことが、「生活者としての外国人」に対する日本語教育では重要である。
- ・必要な部分を選択して使用すること（30 単位／60 時間に縛られる必要はない）

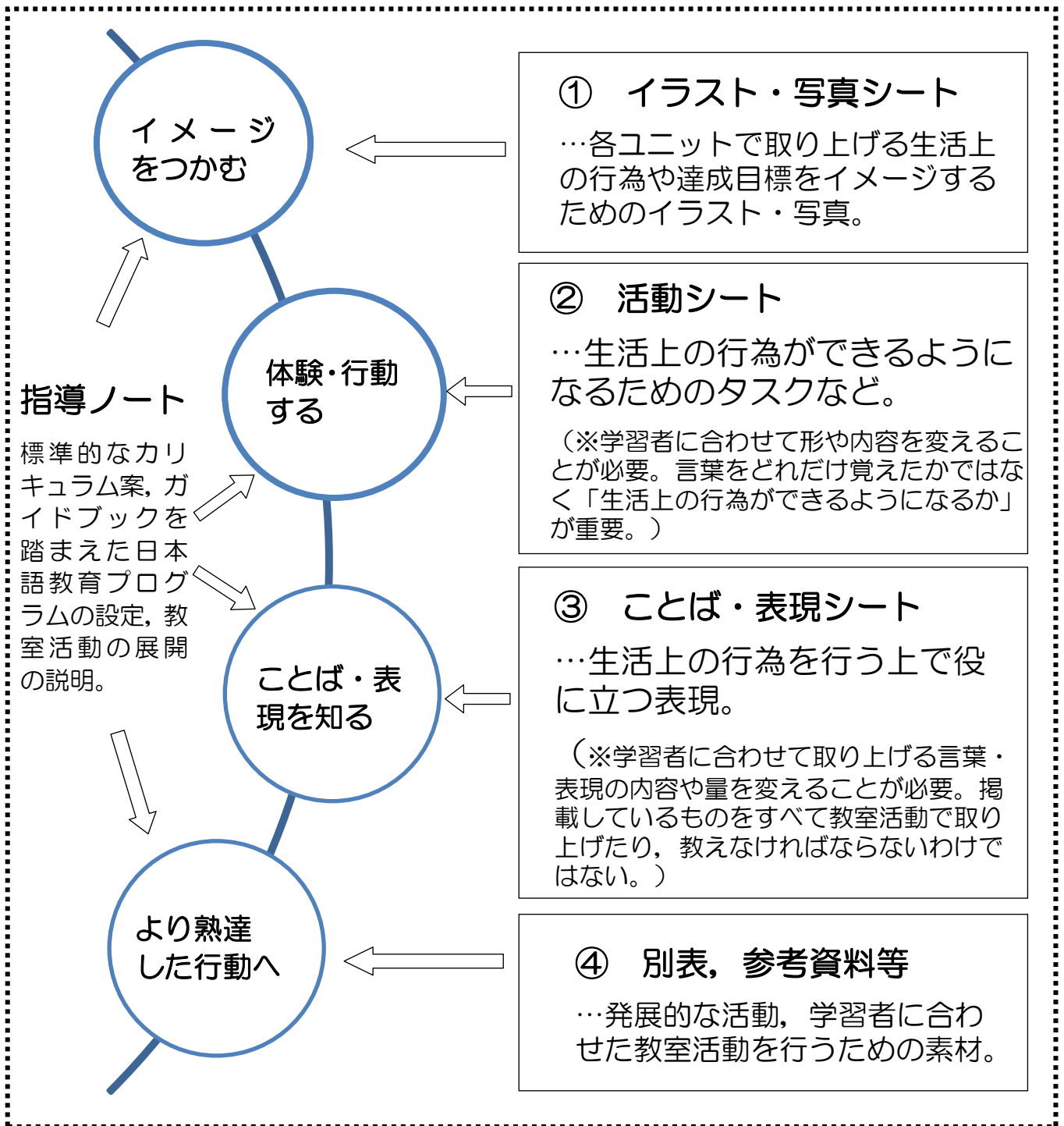
2. 3 教材例作成のプロセス

- ・教材例で取り上げる生活上の行為の事例の一覧と、そこからの選択過程について

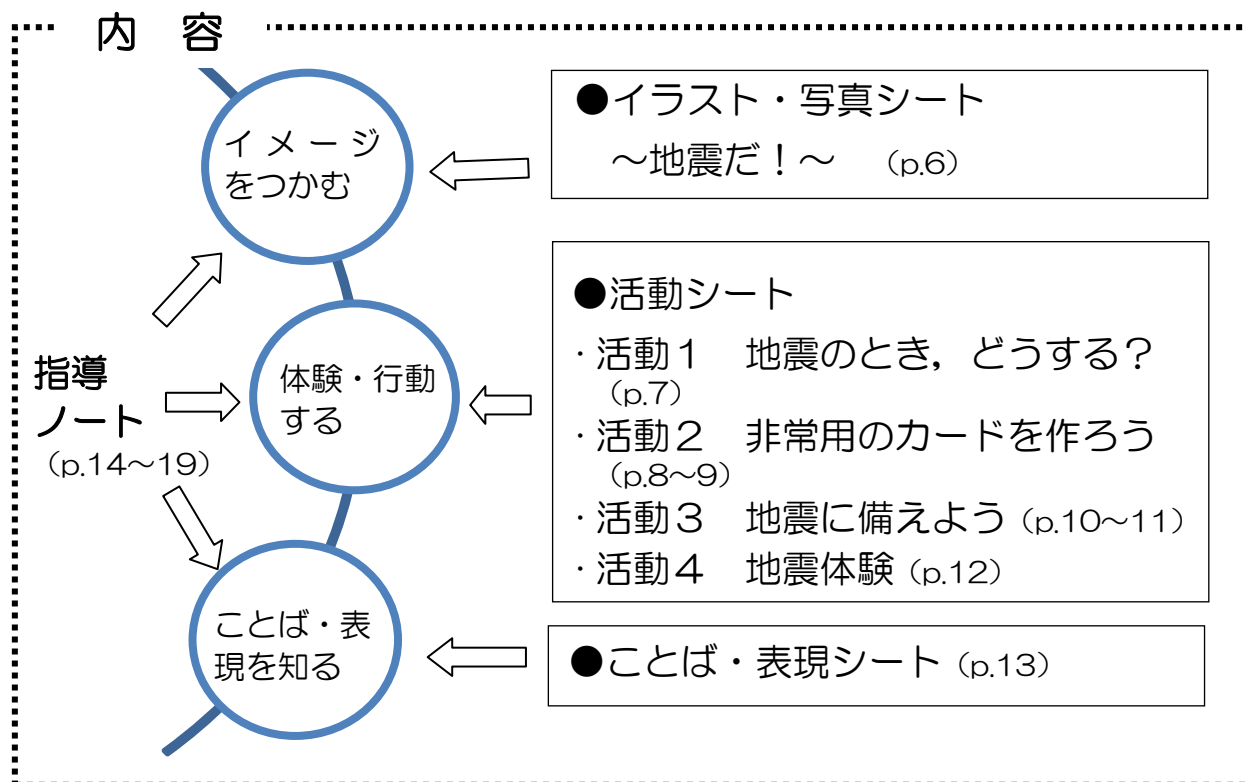
2. 4 教材例の構成

- ・各シート内容及び使い方について
 - ①写真・イラストシートで取り上げる内容及び使い方について
 - ②ことば・表現シートで取り上げる内容及び使い方について
 - ③活動シートで取り上げる内容及び使い方について
 - ④別表、参考資料等で取り上げる内容及び使い方について
 - ⑤各教材例の構成の図（※3 ページの図参照）

⑤各教材例の構成の図



(05) 地震だ！



取り上げる生活上の行為の事例

- (0501030) 「避難場所・方法を理解する・人に聞く」
- (0502010) 「地震について理解する」
- (0502020) 「身を守る」

教室活動の目標 (※14 ページ参照)

地震発生時に適切に行動できるようにする

教室活動のねらい (※14 ページ参照)

避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる
身の守り方について説明を読んで理解できる
地震に備えることができる

● イラスト・写真

地震のイラスト

ゆれている

避難場所を示すマークのイラスト

道路が割れているイラスト

● 活動 1

○ 地震のとき、どうする？

地震のとき、どうしたらいいですか？いいと思うものに○，よくないと思うものに×をつけましょう。わからないとき、まわりの人にも聞いてみましょう。

イラスト くつを履かずに飛び出す	イラスト くつを履いて外に出る
イラスト ゆれているときにそとに飛び出す	イラスト まどをあける
イラスト ゆれているときに、机の下に隠れる	イラスト 台所のガスを止める
イラスト エレベーターを使う	イラスト 階段で逃げる
イラスト 海辺 高台に逃げる	

● 活動 2

○ 非常用のカードを作ろう

非常時のために、普段から持ち歩くカードを作りましょう。



地震・災害時のための避難カード
 Earthquake/Disaster Evacuation Card
 地震災害非常時の避難カード
 Cartão de emergência para casos de terremoto e desastre
 Líbrera de emergencia para casos de terremoto y desastre



避難所に連れて行ってください
 Please take me to the evacuation site
 带我到避难所
 Llevarme al lugar de refugio



平成 20 年 10 月発行
 Tokyo Prefecture Department of Industry, Labor,
 and Tourism International Affairs Division
 〒 209-6201 千代田市有明 1-1-20
 1-1-20 Koyamachi, Chiyoda-ku
 TEL 03-422-2198
 FAX 03-422-2199
 http://www.pref.tokyo.lg.jp



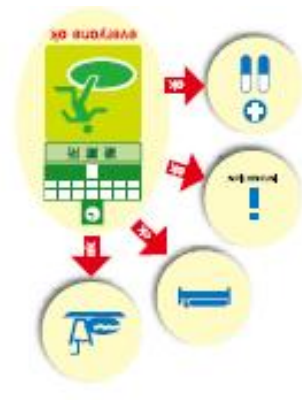
日本語で記入して、いつも身につけてください
 Please fill in Japanese and keep it with you
 用日语填写，并随身携带
 Debes de completar en japonés y llevarlo siempre contigo

① 氏名 Name 姓 Surname

② 住所 Address 町 Town

③ 国籍 Nationality 国 Country

④ 私の住む言葉 Language I live in 国 Country



⑤ 血液型 Blood type 血型 Tipo sanguíneo

⑥ 国内の緊急連絡先 Emergency contact in Japan 国内緊急連絡先
 Número de teléfono de Japón para contactar con seres de emergencia

⑦ 国外の緊急連絡先 Emergency contact abroad 国外緊急連絡先
 Número de teléfono de otro país para contactar con seres de emergencia

⑧ 大規模の難民番号 Emergency Name Number 大規模難民番号
 Número de teléfono del Consulado

⑨ 近くの避難所 Nearest Evacuation Place 最近の避難場所
 Lugar de refugio más cercano

日本語	English	中文	Português	Español
<p>1 地震について</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本は、地震が多い国です。 地震は突然起こります。 大きな揺れは、1分くらいで止まります。 大きな地震の後、何度も揺れ(余震)が続いてきます。 地震が起こると、家具が倒れたり、照明器具が落ちてきますので、注意が必要です。 水、電気、ガスが止まったり、電話やインターネットが通じにくくなります。 <p>2 地震が発生する前にできること</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難カードを、いつも身につけておきましょう。 非常持出品(水、食料、懐中電灯、軍手、タオル、下着、パスポート、外国人登録証、保険証、預金通帳・自動車免許証等のコピー、避難所マップ等)をリュックサックに入れておきましょう。 近くの避難所を家族で確認しておきましょう。 防災訓練に参加してみましょう。 <p>3 地震が発生したら...</p> <p>(1) 身を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> 机やテーブルの下にかくれましょう。 家具や照明器具から離れましょう。 ガスコンロやストーブ等の火を消しましょう。 ドアや窓を開けて、出口を作りましょう。 車を運転しているときは、左側に停めましょう。エンジンを止めて、鍵はつけておきましょう。 <p>(2) 避難するときとは...</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな建物にいるときは、非常口に向かい、避難しましょう。 外は、アロック扉、門、看板、建物の壁、ガラスが落ちてくる場合があるので、注意が必要です。 車は使わないようにしましょう。 非常持ち出し品を持参しましょう。 近くの避難所(食べ物、飲み物や情報があり、誰が行ってもOK)に行きましょう。 	<p>1 Earthquakes:</p> <ul style="list-style-type: none"> Japan has many earthquakes. Earthquakes can come without warning. Large tremors will stop after about 1 minute. After large earthquakes, smaller tremors (aftershocks) will continue. When an earthquake strikes, be careful of falling furniture or light fixtures. Water, electricity, and gas stoppages may occur, and phones and internets may become difficult to use. <p>2 Preparations for before and earthquake strikes.</p> <ul style="list-style-type: none"> Make sure your evacuation card is handy. Prepare an emergency kit in a sack that includes water, food, flashlight, gloves, towel, underwear, a map to the evacuation area, and copies of your passport, foreign registration card, insurance card, bank book, and driver's license. Confirm the location of the evacuation point with your family. Participate in disaster prevention drills. <p>3 In the event of an earthquake:</p> <p>(1) Protect yourself:</p> <ul style="list-style-type: none"> Hide under a table or desk. Get away from furniture and light fixtures that can fall. Turn off any stove and gas burners. Open a door or window to ensure you have an exit. If you are driving pull off to the left-side of the road, turn off the engine, and leave the key in the ignition. <p>(2) During evacuation:</p> <ul style="list-style-type: none"> If you are in a large building, head towards the emergency exits and evacuate the building. There is a chance that block-walls, gates, billboards, and building walls will fall, so be careful. Avoid using a car. Take emergency supplies with you. Go to the nearest evacuation point, a place that will have food, drinks and information, and everyone is welcome. 	<p>1 关于地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本是地震多的国家。 地震会突然发生。 大的摇晃大约于1分钟后停止。 大地震发生后,余震会继续发生。 地震发生时,会发生家具倒下及照明器具掉落的情况,必须注意。 水、电、煤气不通,电话及网络会难以使用。 <p>2 在地震发生前能做到的事情</p> <ul style="list-style-type: none"> 请一直随身携带避难卡。 请预先在旅行包内放入非常时的携带品(水、食物、手电筒、劳动手套、毛巾、内衣、护照、外国人登记证、保险证、存折、汽车驾驶证等的复印件,避难场所地图等)。 请和家人确认附近的避难场所。 请尝试参加防灾训练。 <p>3 一旦地震发生时</p> <p>(1) 保护自身安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 请躲在桌下。 请远离家具和照明器具。 请熄灭煤气炉及取暖炉的火。 请打开门窗,形成出口。 正在开车时,请停在左侧,关掉引擎,钥匙继续挂上。 <p>(2) 避难时</p> <ul style="list-style-type: none"> 在大的建筑物里时,请向着非常出口,进行避难。 在外面时,围墙墙壁、门、招牌板、建筑物的墙壁、玻璃有掉落的可能,必须注意。 请不要使用车辆。 请携带非常时期的随身携带品。 请前往附近的避难场所(有食物、饮料及信息,谁都可以进入) 	<p>1 Terremoto</p> <ul style="list-style-type: none"> O Japão é um país que frequentemente ocorrem terremotos. QOs terremotos ocorrem repentinamente. Os grandes abalos duram em torno de 1 minuto Após os grandes abalos ocorrem os abalos secundários por várias vezes. Tome cuidado com móveis, lustres e lâmpadas que podem cair com o terremoto A água, luz e gás podem parar e dificilmente o telefone e a internet funcionarão. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Mantenha sempre consigo este cartão de emergência Deixe preparado uma mochila com produtos de primeira necessidade como, água, alimentos, lanterna, luvas, toalha, muda de roupa, cópia do passaporte, gaitokujin toroku, cartão do seguro saúde, caderneta do banco, carteira de motorista e o mapa do local de refúgio. Verifique antecipadamente junto com a família o local de refúgio mais perto. Participe de treinamentos para os casos de emergência. <p>3 Como agir em caso de terremoto</p> <p>(1) Proteja-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Entre em baixo de mesas ou carteiras. Procure ficar longe de móveis, lustres e lâmpadas. Desligue gás e aquecedores Abra portas e janelas para saída de emergência Se estiver dirigindo, pare o carro no lado esquerdo, desligue o carro e deixe a chave na ignição. <p>(2) Refúgio-se</p> <ul style="list-style-type: none"> Se estiver dentro de prédios procure a saída de emergência. Locais de extremo perigo são templos, castelos, muros de blocos, prédios altos, pois paredes e cacos de vidros podem cair sobre você. Não utilize o carro para refúgio-se. Leve consigo a mochila com objetos de primeira necessidade. Dirija-se ao refúgio para abrigar-se[No abrigo terá alimentos, bebidas e informações úteis. Todos, sem exceção, poderão abrigar-se nesses locais] 	<p>1 Terremotos</p> <ul style="list-style-type: none"> Japón es un país donde frecuentemente ocurren terremotos. Los terremotos ocurren repentinamente. Los temblores grandes duran alrededor de un minuto. Después de un terremoto grande, ocurren los temblores secundarios varias veces. Tenga cuidado con muebles, aparatos de alumbrado que pueden caerse por los temblores. El agua, luz, gas pueden pararse y el teléfono e internet difícilmente funcionarán. <p>2 Medidas preventivas</p> <ul style="list-style-type: none"> Lleve la libreta de emergencia siempre consigo. Tenga preparada una mochila con artículos de primera necesidad como agua, alimentos, linterna, guantes de trabajo, toallas, ropa interior, fotocopias de pasaporte, gaitokujin torokusho, tarjeta de seguro, libreta de banco, carné de conducir, y mapa del lugar de refugio. Confirme anticipadamente el lugar de refugio más cercano con su familia. Participe en entrenamientos para los casos de emergencia. <p>3 Como comportarse en caso de terremotos</p> <p>(1) Protegerse</p> <ul style="list-style-type: none"> Proteja-se debajo de un escritorio o mesa. Procure alejarse de los muebles y los aparatos de alumbrado. Apague el gas y la estufa. Abra la puerta y las ventanas para la salida de emergencia. Si está manejando, estacione el carro al lado izquierdo, pare el motor y deje la llave dentro del carro antes de refugiarse. <p>(2) Para refugiarse</p> <ul style="list-style-type: none"> Si está dentro de un edificio grande, procure dirigirse a la salida de emergencia para refugiarse. Fuera de casa, tenga cuidado con muros de bloques de cemento, puertas, letreros, paredes y vidrios que pueden caerse. No utilize el carro para refugiarse. Lleve consigo la mochila con artículos de primera necesidad. Diríjase al lugar de refugio para abrigarse donde tendrá alimentos, bebidas e informaciones. Todos, sin excepción, podrán abrigarse.

日本語で記入して、いつも身につけてください
Please fill out in Japanese and keep it with you.
请用日语填写,并随身携带
Preencha em português e mantenha sempre consigo
Rellene en japonés y llévela siempre consigo

氏名 Name Nome **姓名** 姓名 Nombre completo

住所 Address Endereço **地址** Dirección

国籍 Nationality Nacionalidade **國籍** Nacionalidad

私のおしゃる言葉 Languages I can speak. 我能说的语言 我能说的语言 Lenguas que domina

血液型 Blood-type Tipo de sangue **血型** Grupo sanguíneo

国内の緊急連絡先 Emergency contact in Japan 国内緊急联系人
 Número de telefone do Japão para contato em casos de emergência
 Número de teléfono del Japón para contacto en casos de emergencia

国外の緊急連絡先 Emergency contact abroad 国外緊急联系人
 Número de telefone de seu país para contato em casos de emergência
 Número de teléfono de su país para contacto en casos de emergencia

大使館の電話番号 Embassy Phone Number 大使馆电话号码
 Número de telefone do Consulado
 Número de teléfono del Consulado

近くの避難所 Nearest Evacuation Area 最近的避难场所
 Local de refúgio mais perto
 Lugar de refugio más cercano

(財団法人栃木県国際交流協会作成)

● 活動3

○ 地震に備えよう

(1) 防災用品について話しましょう

- ① どんな防災用品を見たことがありますか。
- ② あなたが使いたいと思った防災用品は何ですか。

防災用品の写真
家具転倒防止

(2) 防災袋について話しましょう

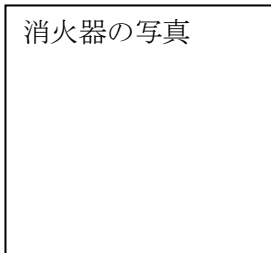
- ① まわりの人に防災袋を用意しているか、防災袋の中身について聞いてみましょう。
- ② あなたの家の防災袋に何を入れておきますか？

防災袋とその中
身の写真

(3) 消火器について話しましょう

① あなたの身の回りに消火器がありますか。どこにありますか。

消火器の写真



家：
会社：
日本語教室：
まちの中：

② 消火器の使用方法を確認しましょう。

● 活動 4

○ 地震体験

(1) 防災館に行って、起震車の体験をしましょう。

(2) 地域の地震避難訓練に参加しましょう。

キーワード

- ・ 地震だ！
- ・ 助けて！
- ・ 逃げて！
- ・ 急いで！
- ・ 大丈夫？／大丈夫
- ・ 窓を開けて！
- ・ ガスを止めて！

● ことば・表現

○ ことば

- ・ 地震（じしん）
- ・ 震度（しんど）
- ・ 緊急地震速報（きんきゅうじしんそくほう）
- ・ 余震（よしん）
- ・ 避難（ひなん）
- ・ 避難場所（ひなんばしょ）
- ・ 避難所（ひなんじょ）
- ・ 津波（つなみ）

写真	写真	写真	写真
薬 (くすり)	水 (みず)	ラジオ	電池 (でんち)
写真	写真	写真	写真
マスク	懐中電灯 (かいちゅうで)		乾パン (かんパン)

- ・ 地震だ！
- ・ 助けて！
- ・ 逃げて！
- ・ 急いで！
- ・ 大丈夫？／大丈夫。
- ・ 窓を開けて！
- ・ ガスを止めて！

指導ノート

- (0501030) 避難場所・方法を理解する・人に聞く
- (0502010) 地震について理解する
- (0502020) 身を守る（地震発生時）

○教室活動の展開の説明

教室活動の目標

- 地震発生時に適切に行動できるようにする

教室活動のねらい

- 避難場所や避難方法の注意書きを読んで理解できる。(活動1, 活動2)
 - 身の守り方について説明を読んで理解できる。(活動1)
 - 地震に備えることができる。(活動2, 活動3, 活動4)
- ・ 日本は地震が多い国です。地震の少ない国から来た人にとって、突然の地震はどんなものだと思いますか。災害はいつ何時やってくるか分かりません。万一のときも、自分は落ち着いて安心して対応できるんだという自信を持つような場を作っていけるといいでしょう。学習者が地域の一員として安心して暮らしていけるよう、地域の地震の避難訓練、外国人向け防災教室などの日程と組み合わせて教室活動を展開するなどの工夫ができるとよいでしょう。

活動前に確認しておくこと

- 学習者の居住地や職場・学校の避難場所
- 近くの防災館の開館時間、休館日、交通
- 地域の防災訓練の日程
(外国人向け防災訓練や防災教室がある自治体もあります)

準備する素材

- 学習者の居住地の自治体が発行している地震時の対応に関する多言語情報
- 学習者の居住地の自治体が発行している避難場所に関するパンフレット
- 非常時用携帯カード（学習者の自治体のものがあればそれを利用，なければ他自治体のものを利用してよい。または，自作する。）

① イメージをつかむ⇒イラスト・写真シート（p.6）

- ・ 「イラスト・写真シート」（p.6）を見ながら，学習者のこれまでの地震の体験について話をします。学習者がどう対応したか，どんな気持ちになったのか，話を引き出していきましょう。ウォームアップでは，地震の様子を報道しているテレビの映像を利用したり，学習者が居住する地域の避難場所を示す看板の写真など，地域に合った素材を使うこともいいでしょう。

<問いかけ例>

- ・ あなたの国ではよく地震がありますか。
- ・ 地震を体験したことがありますか。そのとき，どうしましたか。どんな気持ちになりましたか。

② 体験・行動する⇒活動シート1～地震のとき，どうする～（p.7）

- ・ 「活動シート1～地震のとき，どうする？～」(p.7) は，地震発生時の適切な行動を知る活動です。それぞれのイラストの行動が適切かどうか考えた後，多言語情報を見て確認します。学習者が一人で考えてみてもいいですし，協力者といっしょに考えてみてもいいでしょう。それぞれの行動の理由についても確認できると，よりいいでしょう。また，イラストに載っていない行動について話を発展的させてもいいでしょう。適切な行動を知っていれば，学習者は地震が起きたときもパニックにならず，落ち着いて対応できる可能性が高くなるでしょう。

- 地震に関する多言語情報は多くの自治体や団体で作成されています。自治体によって、情報量、提供形態などが異なりますので、学習者の居住地のもの以外でも学習者に合うものがあれば大いに活用しましょう。

多言語情報例

- 例1) 東京都 URL 入れる (日・韓・英・中)
- 電車・バス・地下鉄に乗っているとき、地下街にいるときなど地震発生時にいる場所別に適切な対応が掲載されている。
 - パンフレットが PDF ファイルで提供されている。
- 例2) 滋賀県 URL 入れる (日・)
- ～や～な (具体的に入れる) など情報が豊富で多岐にわたる。
- 例3) 文化庁『日本語学習・生活ハンドブック』(日) p.173

④ 体験・行動する⇒活動シート2 ～非常用のカードを作ろう～ (~)

- 非常時に携帯するカードを作成する活動です。カードには、学習者の個人情報や避難場所、連絡先などを記入しておきます。学習者の居住地の自治体が発行する非常用携帯カードがあれば、それを利用することができます。学習者の自治体で作成していない場合、他の自治体で作成したカードを利用することもできますし、学習者といっしょに自分たちで作ってみるのもいいでしょう。作成したら、小さく折りたたんで、普段から財布や手帳に入れておくようにしましょう。

多言語避難カード

- 例1) 財団法人栃木県国際交流協会 地震・災害時のための避難カード
URL を入れる (日・)
- 例2) 東京都生活文化スポーツ局 ヘルプカード(病気・緊急・地震・相談)
URL を入れる (日・英・韓・中)

- 避難場所の記入については、学習者が住んでいる自治体が発行している避難場所のパンフレットを見ながら確認しましょう。一次的な避難所と広域避

難所の両方がある地域もあります。事前にそれらを確認しておきましょう。避難場所を学習者が知らない場合は、実際にいっしょに歩いて避難経路を確認するといいいでしょう。

- ・ 学習者の状況に応じて記入項目を変更したり増やしたりしてもいいでしょう。

例) 家族の緊急連絡先 (会社や学校など)

家族との緊急集合場所

近所の人との連絡先

持病・普段飲んでいる薬の名前

かかりつけの病院名・病院の連絡先

⑤ 体験・行動する⇒活動シート3 ～地震に備えよう～ (p. 10～11)

- ・ ここでは、日常生活で地震にどんな備えができるのかを知ることを目的としています。

—防災用品について

- ・ ここでは、防災用品について話をします。防災用品の実物を持ってきて話をするといいいでしょう。ない場合は、写真でも構いません。学習者が見たことがあるか、使い方を知っているか、指導者や協力者の家ではどんなものを使っているか、学習者も使ってみたいかなど話を広げてみましょう。実際にホームセンターなどの防災用品売り場に行って、様々な器具を手にしてみるのもいいでしょう。

—防災袋について

- ・ ここでは防災袋について話をします。まず、「ことば・表現」の単語「薬」～「乾パン」(防災袋に入れておくものの単語)に慣れておくといいいでしょう。自宅に防災袋の備えの有無や中身について、協力者にインタビューをします。教材例には掲載していませんが、インタビュー時の記録用紙を作成しておくといいいでしょう。

表現例)

学習者：家に防災袋がありますか。

学習者：防災袋の中に何が入っていますか。

- ・ インタビューをしたあと、自分なら防災袋にどんなものを入れておくかを考えて、記入します。

—消火器について

- ・ ここでは消火器について話をします。地震のあと火災が発生することがありますが、ここでは消火器を使った初期消火について話をします。自分の身の回りのどこに消火器があるかを調べたり、使い方を確認したりします。街頭消火器の設置場所については、自治体のHPなどで紹介されています。また、自治体に問い合わせで聞いておくこともできます。（※街頭消火器は設置されていない自治体もあります。）

⑤ 体験・行動する⇒活動シート4 ～地震体験～（p.12）

- ・ 「活動シート4 ～地震体験～」の「(1) 防災館に行って、起震車の体験をしましょう」（p.12）は、近くに防災館があれば、実際に地震車の体験をする活動です。
- ・ 「活動シート4 ～地震体験～」の「(2) 地域の地震避難訓練に参加しましょう。」（p.12）は、地域の地域防災訓練に参加する活動です。ぜひ訓練にいっしょに参加することを教室活動に組み込んでみましょう。地域で生活する一員という気持ちがあると、万一のときも安心です。
- ・ もし、防災訓練がなければ日本語教室として避難訓練を実施してみましょう。その際に必要になる表現を、確認しておきましょう。
- ・ 表現は、「地震だ」「助けて」などの基本的な表現のほか、沿岸部か山間部か、また都会なのか農村なのか、学習者が住んでいる状況によって避難するときに必要となる表現が違うことがあります。

たとえば、沿岸部では「津波が来るから逃げて」「高台に逃げて」ということばが言える、または聞き取れることが大切となります。学習者と話をしながら、地震のときにどんな表現が必要になるかを話しながら、話題に出た表現を扱っていくことが大切でしょう。

⑤ ことば・表現を知る⇒ことば・表現シート (p.13)

- ・ 「地震」～「津波」は地震災害に関して知っているのと役に立つことばです。「薬」～「乾パン」は防災袋に入れる代表的なものです。防災袋に入れるものを買物に行ったときに困らないよう、これらのことばに慣れておくといいでしょう。「地震だ!」～「ガスを止めて!」は避難時によく使う表現です。
- ・ 「薬」～「乾パン」のことばは「活動3」の「(2) 防災袋について話しましょう」(p.10)で防災袋の活動をする前に、防災袋に入れるものの単語を確認しておくといいでしょう。
- ・ ゲームを取り入れて、ことばに慣れることもできます。下の例はカルタを応用したものです。「地震だ!」～「乾パン」の表現もカルタを応用し、聞いてわかるようにできるといいでしょう。

「薬」～「乾パン」のことばのゲーム例)

準備：防災袋に入れるものの絵カード

- ① 学習者数人でグループを作り、机の周りにすわります。
- ② 絵カードを机の上にばらばらに置きます。
- ③ 指導者が絵カードの単語を一つ言います。学習者は該当する単語カードをとります。一番早く取れた人がそのカードをもらいます。これを机の上のカードがなくなるまでやります。
- ④ 机の上のカードがなくなったら終わりです。一番カードをたくさん持っている人が勝ちです。

⑤ より熟達した行動へ（発展的な活動の例)

- ・ 学習者の地震に関する知識やニーズによっては、より発展的な活動も考えられます。

例)

- ・ 災害伝言板の使い方を知る。
- ・ テレビやラジオのニュースから震度や津波の情報を得る。
- ・ 学習者の居住自治体の防災無線を聞いて、情報を聞き取る（「津波」「高台に逃げてください」「地すべり」「余震」など）。